

第1回奥の細道むすびの地周辺整備構想懇談会における委員意見

委 員	意 見
情報科学芸術大学院 大学学長 横山 正	・ 大垣市が素晴らしいものになっていく出発点になると思います。 ・ この場所が奥の細道むすびの地になったこと、港があったことに着目して、大垣の水の文化を何らかの形で反映できると良いと思います。 ・ 週末だけでも、桑名へ船が出ると良いと思います。そうした計画も進めてほしいと思います。
大垣市文化連盟会長 大垣市観光協会会長 田中 良幸	・ 奥の細道むすびの地周辺構想対象区域の中にある第二住吉荘について手がつけられないかを考えたいです。 ・ 芭蕉記念館は今のままでいいのか、無可有荘大醒榊をここに移築するのか、深川から大垣までが奥の細道なので、その辺りも構想に入れて進めていくと良いと思います。
大垣市商店街振興組合 連合会理事長 北野 茂樹	・ 奥の細道むすびの地周辺地域だけでなく、大垣商店街と連携を持って、広い地域での開発という形でお願いしたい。 ・ 埼玉県川越市では、大垣市と条件が似ている。川越駅を降りると、ボランティアグループが回遊する地図を持っています。時の鐘、蔵の町、川越城を一周すると、2時間くらいです。若い人がたくさん来ている。歴史、文化を他地域の方にも見ていただけるような楽しいまちづくりにしていきたい。
大垣市連合自治会連絡 協議会副会長 大橋 庄一郎	・ 駅前地域は駅を中心として、大垣城周辺は大垣城と大垣公園を中心として、船町は奥の細道むすびの地を中心として、それらが一体化すれば、観光地としても、住む場所としても、楽しい街になると思います。 ・ 水門川に矢立初の句碑が建てられ、今は「ミニ奥の細道」ができて、大垣を訪れる人が増えています。 ・ 黒羽町の芭蕉の館はすごい建物で、深川の芭蕉館も立派です。投資を惜しまなければ、必ず人が来ると思います。
大垣市連合婦人会書記 谷口 いつゑ	・ むすびの地周辺を回った際に、四季の広場で昼になったが、食事をするところがなかった。2千円出せば食べるところがありますが、庶民にとっては1千円前後が妥当だと思います。 ・ バスで入ってきて、食事ができ、大垣の名物を買えて、キャラクターもある。そういう形にすると良いと思います。

委 員	意 見
大垣市青年のつどい 協議会会長 大塚 典和	・ 若い人たちが行けるようにしないといけないと思います。奥の細道むすびの地周辺だけにいいものを作っても、人は来ないと思います。大垣市を全体としてどう変えるか。この地域の人々が本当にふるさとを愛して、住みよいまちになるかを考えないといけない。
奥の細道俳句協会会長 田中 青志	・ 俳句のまち・大垣と言われています。俳句人口が増えたと言っていますが、小中学生とお年寄りの間の層が抜けていると思います。 ・ むすびの地記念館の整備をどう結びつけるかを審議していただきたい。 ・ 若い人にもっと奥の細道むすびの地を知っていただいて、これから大垣市に住んで楽しく過ごせるかを考えていきたいと思います。
大垣市文化財保護協会 会長 矢橋 和江	・ 解体して保存している大醒櫓が、構想の対象になるかが最大の関心事で、その点をお願いしたい。 ・ まちというのは地元で育った人よりも外から来た人の方が新しい目で見ることがができます。外から来た人の目をいろんなところで拾い上げながら構想を進めるようお願いします。 ・ 駅からむすびの地まで十分歩ける距離です。歩いて回れる構想を持ってほしいと思います。車やバスの駐車場は、この近くでなくてもよいと思います。
ふるさと大垣案内の会 会長 河合 和弘	・ 西門から美濃路の出入り口である正覚寺までの１キロメートルの距離には、非常に歴史的、文化的に価値の高い建造物や神社、仏閣がたくさんあります。今回は単に点を整備するだけではなく、むすびの地から正覚寺までを含めての地域の特性を見て、整備をされたら良いと思います。 ・ 巨額な投資をすればピカピカなものができ、一時的な賑わいが創出できるかもしれませんが、息の長いものとなると、さりげないものにした方が良いと思います。 ・ 去年は、観光ガイドの件数は３８０件、そのうち２８０がバスツアー、１万１４００人が来場され、１８年度対比では１７８％で、むすびの地を訪れるお客様は大幅にアップしています。大垣市へ訪れるお客様は、大半が芭蕉関係で来ます。大垣城へはついでによるパターンが多い。芭蕉に特化する形で整備するのが良いと思います。そして、むすびの地周辺だけでなく、船町全体をどのようにするかも含めて考えると良いと思います。

委 員	意 見
まちづくり工房大垣・ 歴史観光グループ代表 疋田 正	・ 芭蕉というキーワードのまちは全国いたるところにあります。しかし、「むすびの地」というキーワードをつけられるのは大垣だけ、あるいはこのエリアだけです。むすびの地というキーワードを生かした開発を進めてほしいと思います。ただ、この地域に限定せず、もう少し広いエリアも含めて、大垣市全体まで広げて起爆剤にしてほしいと思います。 ・ 今回の懇談会は3回で終わる計画ですが、大垣市全体の観光の起爆剤、本格的な観光都市への脱皮への出発点の位置づけとして考えてほしいと思います。
岐阜経済大学学生 蟻塚 正樹	・ 大学で普通に学んでいる学生にとって、芭蕉と大垣はつながっていないと思います。他の委員のお話にあったように、抜けている世代を今回の整備で引きつけられるようなものを入れていくべきだと思います。他の都市でもやっているような景観を整えて、むすびの地記念館を整備するだけでは、現状の観光客層になると思います。お洒落なバーやレストランを積極的に入れるなど、和の中に洋を入れるような、他の都市にないような整備をして、そこを全面的に売り出さないと個性は出ないと思います。
大垣女子短期大学学生 小西 美那	・ 大垣に来るまで芭蕉のむすびの地ということは知りませんでした。芭蕉や俳句について分かりやすい施設があればと思います。小中学生などが勉強できる施設があれば、学習のためにやってくる人がたくさん来ると思います。
大垣女子短期大学学生 中島 章子	・ 何度かむすびの地に行こうとしましたが、道が複雑でたどり着けませんでした。もう少し分かりやすい看板があると良いと思いました。案内されないと分からないところがあります。 ・ 地図をもらって、自力でその場所まで歩いてみたいという気持ちがあります。
興文連合自治会長 松岡 昌男	・ 現在の記念館では一服する場所もない。早急に整備しないといけないと思います。 ・ 芭蕉の作品は複製ばかりで本物が少ない。そこにお金をつぎ込んで、お宝を購入すると良いと思います。 ・ 先賢館は必要ないと思います。集中的なお金の使い方が良いと思います。
西連合自治会長 北村 正章	・ 先般、天童市へ行き、芭蕉記念館がありましたので立ち寄りました。清楚で良いもので、あのようなものができたらと思いました。

委 員	意 見
南連合自治会長 小林 晃	・ 私どもの地域は、このエリアには直接入っていません。もう少し東の方を見直してもらえたらと思います。住吉公園の中には南ライオンズクラブが造った芭蕉ゆかりの句碑の案内もあります。
船町湊まちづくり 株式会社代表取締役 三輪 高史	・ 市長をはじめとした協力があり、土地が手に入りました。町内の方といつも話すのですが、第2住吉荘の所有者とも話しますが、みんな協力的です。「市におんぶにだっこではまずい。」と皆さん考えています。 ・ うちの酒蔵は明治21年に建ちました。毎年数百万円投入して維持するのも大変ですが、なんとか守っています。他の古い家屋も同様です。たまたま今回のエリアが出発点と言う形で、市が中心でやっていただきますが、課をつくっても良いのではないかと思います。 ・ 数年前から芭蕉のまちにするということですが、鉄心の墓などいろいろあります。大垣にしかないものをたくさん入れてほしいと思います。大垣ならではの物をつくっていただいて、景観整備も含めてやっていただくようですが、古い建物は放っておけばどんどんなくなります。洒落たレストランがあってもいいと思います。ゆっくり回遊できる場所があればと思います ・ 今回の構想の懇談会は、取得される土地が中心です。全体構想は皆さんが言われた話になると思います。これはこれで終わりにはならないと思います。これは出発です。全部入れ込もうと思ってもまとまるはずがないと思います。